



青 垣

第 56 号

令和二年二月一日発行

奈良県橿原市久米町九三四

奈良県神社庁内

発行所 奈良県神道青年会

電話〇七四四一三十四七三

編集者 広報 部



会長 挨拶
春日大社権禰宜 越智康介

この度、先の臨時総会に於いて図らずも多田佳史前会長の後任として選出されました、春日大社権禰宜の越智康介と申します。もとより浅学非才の身ゆえ甚だ力不足ではございますが、役員一同団結し任期を全うする所存でございますので、何とぞ皆様方のご芳情をお願い申しあげます。

今期は、六月に神道青年近畿地区連絡協議会二十五周年記念大会が奈良ロイヤルホテルにて開催されました。就任早々当番県として迎える記念大会では、私をはじめ新役員共々不慣れな中、昨年からの準備を進めていただいた多田前会長をはじめ前期の役員の皆様のお力添えをいただき、遺漏なく盛大裡に開催することができました。歴代の諸先輩方の苦勞と築き上げられた礎に、敬意を表すと共に、感謝の念に堪えません。また、本年は当会設立五十五周年を迎えます。新帝陛下におかせられましては大嘗祭後、神武天皇陵に御親謁あそ



祝祭日には
国旗を
揚げましょう

はされることかと存じますが、記念事業として御来県に先立ち、神武天皇陵勤勞奉仕を計画し、御大札をお喜び申しあげるとともに、会員はもとより氏子崇敬者の皆様と皇室国家の安泰と世界の平和を祈念し、真心込めてご奉仕させていただきます。

さて、近年は自然が猛威を振るい、自然災害が多く、各御社におかれましても復興の祈りを捧げていることかと存じます。メディアでは復興を通じて、心の故郷神社の存在、希薄になっていと言われる家族の絆、人と人との繋がりの必要性を報道しておりました。先日境内を案内している最中、同様の内容を口にされる参拝者もおられ、国民が神社に対して求める課題の一つとして、私自身も目を背けることなく青年神職として何ができるのかを考え、活動してまいりたいと思います。

末筆ながら今後益々の会員相互の親睦を深め、より一層の団結力をもって歩みを進め、多くの先輩方が積み重ねてこられた歴史を守り、汚すことなく役員一同任を果たす所存でございますので、神社庁をはじめ県内各神社様、先輩諸兄、会員各位には何卒変わらぬご指導ご鞭撻賜りますようお願い申しあげ、会長就任の挨拶といたします。

己の立てるところを深く掘れ
そこには必ず泉あらむ
高山樗牛

平成三十一年度 定例総会

去る平成三十一年四月二十四日(木)、奈良県神社庁に於いて、樋口庁長に御臨席いただき平成三十一年度定例総会が会員二十六名の出席のもと開催された。

議事では議長に尾田理事が選出され、平成三十年年度活動報告、平成三十年度決算報告、会計監査報告、神田監事、稲熊監事、久保田副会長、西田副会長の選出、平成三十一年度活動計画案、平成三十一年度会計予算案が賛成多数で承認された。

越智新会長のもと平成三十一年度がスタートした。本年度は御代替りの特別な年であり、本会も五十五周年の節目の年となる。新たな気持ちで様々な事業、活動を発展させていくことが確認された。

総会后、檀原観光ホテルにて懇親会が開催され、大いに親睦が深められた。

(事務局)



前会長挨拶

檀原 神宮

権禰宜 多田 佳史



任期中の二年間、諸活動につきまして様々な御協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、越智康介君に会長を引き継いでから半年程が経過しました。その間、事業にはほとんど参加することが出来ていませんが、奉務神社の理事より活動の様子は何となく聞いておりますが、本年は恒例の事業の他、御代替りに関する事業、設立五十五周年に関する事業、また災害復興支援活動等で、特に多忙な一年であったと思いますが、越智会長の下、ひとつひとつ丁寧に行っている様で、頼もしく思っています。

年齢的に今年度迄は会員であり、肩書きは直前会長であります。社務都合で理事役員会等には出席しないことは、前年度中から解っていたことなので、会長任期中に全てをやり切ろうと臨み、個人的には今はやり切ったという感覚です。もちろん、力不足で出来なかったこと、後に残ってしまった課題は沢山ありますが、それらは後輩たちが適切に処理してくれると信じています。

もう卒業した人の文章のようになっていますが、平成十三年に檀原神宮に奉職し、四月末に訳も分からず定例総会に出席したことが、最初の青年会活動であったと記憶しています。ここでは書き切れませんが、様々な事業に参加し、様々な役職を務める機会を戴きました。中には二度としたくないと思うお役目もありましたが、青年会活動を通じて得た経験は、日々の御奉仕に役立っていると、私は確信しています。また、沢山の同志を得たことも、大変有り難いことだと思っています。

青年会活動についての考え方は色々あると思いますが、ある年齢を超えるとやりたくても出来ないのが青年会の活動です。感覚的な個人差はあると思いますが、必ず得るものはありますので、少し無理をしても積極的に参加して欲しいと思います。

頑張ってください。

神話紙芝居団「かたりべまほろば」活動報告

本年度の活動報告を致します。

まず本年度公演として、七月六日(土)に春日大社所属ガールスカウト・ボーイスカウトの夏の実習での公演、また、八月五日(月)には檀原神宮林間学園においての公演をそれぞれ行った。これらの公演は毎年の恒例となっており、子供達を対象に行われている。皆熱心に話を聞き、喜んでくれるようだ。今日ではあまり語られる機会が少なくなった神話を子供達にも触れてもらいたい。興味を持ってもらう機会であるので大切にしていきたい。

八月五日(月)には、近鉄百貨店 檀原店が主催する「夏休みこども博IN檀原」というイベントがあり、その中の一つで紙芝居の公演があった。公演は午後から二度行い、老若男女問わず多くの方々にご覧頂けた。近年かかさず公演をしており、イベントに訪れた子供達を中心に好評を頂いている。また、先方の担当者で毎年公演を見て、ご依頼いただいておりますが、その方より今年は今までの公演の中で一番迫力があり、すばらしかったというお声を頂戴した。今後も長く続けるだけでなくクオリティを維持できるように励んでいきたい。

八月十六日(金)には、奈良県護国神社にて「東市高円の杜夏まつり」の参加者に対して公演を行った。終戦七十年の期より、奈良県神道青年会の事業として護国神社で紙芝居の公演をさせて頂いた。夏まつりということで、子供達がよく集まっており、できるだけ理解してもらえようように話すと話すよう意識した。昨年は台風の影響で公演できず、残念な思いであったが、今年は大変にも恵まれよい公演であったと感じた。

報告の通り本年度初めて同日同時刻に公演が重なった。一つをお断りすることも考えたが、団員の頑張りのもあり二つに分かれて無事公演を行えた。その際に絵の土台を先方から新しく作成し、頂戴した。大変感謝すると共にそこまでご配慮していただけたということは、この紙芝居団が必要とされていると感じ、より心が引き締まる思いであった。



また団内の活動として、公演の質をよりよくしていきたい。その上で、どの団員が公演を行ってもクオリティが同じようにしていきたいと思う。今年が一番良かったというお声はありがたいことであるが、その公演が、たまたまクオリティが高かったという訳にはいかず、見る方はそれぞれ違うので、公演の差がないように今までよりさらに皆でレベルを上げていきたい。団内の雰囲気は大変よくなっているの、頑張り

たい。また、普段の練習や、懇親を深める場では、皆で楽しく行っているの、団員になっていただける方にもお声掛けを願います、参加も歓迎しております。

できるだけ多くの方に紙芝居で神話にふれてもらえるようしていくには、皆様方のご理解が必要となっていきますので何卒協力の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、今回の多くの公演においてお世話頂いた、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

(かたりべまほろば 団事務局)



5/20

親睦ボウリング大会

令和元年五月二十日(月)毎年恒例の近畿地区親睦野球大会を開催する予定をしておりましたが、悪天候となった為、ボウリング大会を開催する運びとなった。会場はボウリンググレインボー楯原店で総勢六十六名が参加した。

先ず、大会を開催するにあたり、近畿地区連絡協議会田中会長の挨拶があり、当会西田副会長の挨拶後、ボウリング大会は田中会長、上野副会長の始球式によって華々しく幕を開けた。

それぞれ好スコアが並んだが、今年は大阪神青が見事に優勝を掴んだ。

大会終了後には、懇親会が開かれ表彰式が行われた。優勝の大阪神青に優勝旗が手渡され、また各単位の優秀選手が拍手と共に発表された。懇親会は大いに盛り上がり盛況のうちに幕を閉じた。
(等彌 尾田)



6/10

近畿地区連絡協議会定例総会
並びに設立二十五周年大会

令和元年六月十日(月)奈良ロイヤルホテルに於いて近畿二府四県より会員八十二名が出席し令和元年度定例総会が開催された。矢頭英征副会長の開式の辞で始まり、会長挨拶では田中国男会長が任期最後の挨拶となり、二年間の任期の活動を振り返りながら「おかげさま」という言葉をもって感謝の気持ちを述べた。次いで当番県会長として奈良県神道青年会越智康介会長が歓迎の挨拶を述べ、議長として会の進行に当たった。議事は平成三十年度の会務報告に始まり、全年度歳入歳出決算に関する件、監査報告が行われ、その後役員承認並びに相談役委嘱に関する件にて上野潤新会長より新役員・相談役が発表された。次いで上野新会長から令和元年度の活動方針として南あわじ市の「若人の広場公園」に平和の樹である榊を植樹する事を始め今後の災害対策の在り方、各事業の充実などの説明があった。最後に次年度当番県である滋賀県矢頭英征会長の挨拶があり、定例総会は西田周司新副会長の閉会の辞をもって滞りなく終了した。

全四時三十分からは設立二十五周年記念式典を開催。来賓に樋口俊夫奈良県神社庁長、神道青年全国協議会より金田祐季会長、神道青年近畿地区連絡協議会加藤芳哉顧問にご臨席を賜り、会員含め一〇八名の出席のもと盛

大に執り行われた。神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、物故者への黙祷の後、上野新会長が式辞を述べ青年神職が研鑽を積み新しい時代を担ってゆく方向性を示した。その後、当連絡協議会発展に尽力された稲本高続様をはじめ十六名の諸賢に表彰状並びに記念品が授与された。次いで、来賓御三方から祝辞をいただき、樋口庁長からは当会は青年神職のつながりをつくる場であり、若い時にしかできないことを大切にする事、金田会長からはイデオロギーのわかりにくい世の中に青年神職の行動が問われる時代が来ている事、加藤顧問からは当会の歴史を詳らかにご説明



いただいた。その後、参加者一同で神道青年の歌、美はしき山河を斉唱し、聖寿万歳の声高らかに記念式典は盛大に閉会した。

全六時よりは祝宴を開催。和太鼓大美和による清興行事より開宴となり、別所敬介顧問乾杯のもと多くの来賓・会員が祝杯を上げた。また、上野新会長から田中前会長へ椰の苗木が贈呈されたり、祈願祭に奉献された地酒が振る舞われたりと祝宴は大いに盛り上がり、上田安德参与の万歳三唱をもって終了した。

(石上 井上)

6/18

宮崎神青交流事業

令和元年六月十八日(火)に当会と姉妹神青の関係を結ぶ宮崎県神道青年会が創立七十周年の佳節を迎えるにあたり、西田副会長と多田直前会長と樋口の三名が宮崎神宮同会館で開催される記念式典に出席した。

開催までの時間を利用し江田神社、小戸神社を参拝し、平和公園内の八紘一宇の塔を訪れた。そして午後三時の記念式典、午後四時より記念講演として京都御香宮神社権禰宜三木善明先生による演題「天皇様のおまつり」を拝聴し、午後六時には三味線演奏者の演奏があり華やかな雰囲気なかで祝宴が催された。祝宴の最後には前回の周年から十年の活動の歩みを纏めた映像が映され当会との歴代の交流事業や檀原神宮遷座祭奉仕の集合写真などもあり思い出に目頭が熱くなった。

その後も宮崎神青の会員をはじめ全国からの出席者と親睦を深め、深夜までそれぞれの活動や想いを話し合った。翌日は当会三名で帰りの飛行機まで、鶴戸神宮と青島神社へ参拝。鶴戸神宮では宮崎神青の佐師副会長が出迎えてくださり、お疲れのところ親切に社頭をご案内いただいた。

この交流は東日本大震災の後、神武天皇ご生誕の地である宮崎県と、ご創業の地である奈良県が姉妹関係を結び、平時に交流を持つことで有事の対応や諸問題への取り組みなど、地区を越えて広い視野で協力することを目的



7/2

石上神宮禊場清掃奉仕

としている。思い出と人との繋がりがあるとその土地に縁が生まれるが、お互いに青年会員という時期に奉務神社の許しを得て掛け替えない繋がりをお願いしていることに感謝し、先輩方の想いをつなぐ事業として今後も成果のある交流を行なっていきたい。

(廣瀬 樋口)



令和元年七月二日(火)、石上神宮にて禊場並びに関連施設の清掃奉仕を行い、西田副会長以下五会員が参加しました。清掃奉仕は毎年、石上神宮で神道青年近畿地区連絡協議会の事業である禊・鎮魂鍊成研修会が行われ、当会員も多く参加するため三年前より行っています。

当日早朝から降っていた雨も清掃開始までには止み、石上神宮職員の方の指示のもと、

午前中は禊場と潔斎場に分かれての清掃となりました。禊場では高圧洗浄機を使って苔などの汚れを落とし、潔斎場はブラシを使い水垢を落としました。午後からは全員で禊場に斎竹を立て注連縄を張り、長生殿庭の除草作業を行いました。綺麗になった禊場を見ると自分自身も清らかな気持ちになりました。これから行われます錬成研修会がより良いものでありますよう祈念しております。また、奉仕後は会員の交流を深めるべく懇親会が開かれ、和やかな裡に終了しました。

(榎原 伊藤)

7/9

禊・鎮魂錬成研修会

令和元年七月九日(火)と十日(水)の両日、石上神宮において神道青年近畿地区連絡協議会主催にて禊・鎮魂錬成研修会が開催され、神道青年近畿地区連絡協議会上野会長をはじめ一府四県より私を含め青年神職十九名が参加した。受付を済ませ午後二時三十分より拝殿にて正式参拝と開講式を行い、担当県を代表して越智会長が挨拶。引き続き参集殿に移動し、奈良県神社庁錬成行事助彦の石上神宮道上権欄宜より禊祓行事に於ける鳥船行法と鎮魂・ふりたま行法の入念な解説と心構えについて指導を受けた。そして、九日夕方と十日早朝、禊行法と鎮魂行法がそれぞれ禊場と拝殿にて執り行われた。今回の禊・鎮魂錬成は、私にとって大学の神宮実習以来の



体験で、当時のことを思い出しながら初心の気持ちで臨んだ。

九日夕刻には同会勉強会として、公益社団法人日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会の米田昌功先生と森脇大統先生を迎えて

「SDGsの活動について」を参加者一同熱心に受講した。「SDGs」とは、全世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために必要な開発目標(ゴール)のことで、二〇一五年にニューヨーク国連総会にて提唱された。米田先生は、先進国・途上国すべての国を対象に、全ての人々に平等な機会を与え、二〇三〇年までに地球環境を壊さずにより良い生活を送る世界を目指す取り組みであると解説をいただき、更に我が国の「SDGs」に対する認知度の低さを指摘された。一方、森脇先生はトランプのババ抜き遊びを取り入れ、数字ごとに定められた指示に従うことで、ゴールまでの問題や課題を知ることが出来る」と説明。自分に何が出来るのかと難しく考えずとも、この体験を周知することで「SDGs」の達成に貢献できると伝えていくことへの大切さを示唆頂いた。

閉講式では、奈良県神社庁樋口俊夫庁長が来賓としてご挨拶を頂き、上野会長が代表で修了証を受け、謝辞を述べられた。また、道上権欄宜より受講生の名前が記された健康長寿の御守「玉の緒」が手渡された。その後の直会には、樋口庁長、道上権欄宜を囲み、「鎮魂行法で体得した呼吸法を日頃の奉仕で実践したい」や「自社の氏子青年活動に鎮魂錬成行事を取り入れ、更なる強化に役立てたい」などの感想や今後の意気込みを話し合い、終始和やかな雰囲気のもと行われた。宴も酣闌であったが、西田副会長の中締め挨拶後、一本締めにて名残惜しくも散会となった。



奈良県へ転任し、初めて参加させて頂いたこの研修会において、石上神宮の長い歴史の中で秘伝とされてきた禊・鎮魂錬成を直接肌で感じる事が出来た。この研修会は、神職の心身修養に欠かせないもので、神道行法研修会として昭和五十八年より継続して開催されている。一泊二日の短期集中型の研修会であるが、本庁研修に準拠して行われる錬成は、毎回参加者より好評を博しており、同会では今後も多くの青年神職に参加を募る予定である。



令和元年七月十六日(金)、五條市のシブルカントリークラブに於いて、奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会が開催された。参加人数は会員九名、OB五名の計十四名であった。心配されていた雨は、ほとんどといったいほど降ることはなく、蒸し暑い気候の中の大会となった。開会式では葛城裕先輩にお言葉を頂き、中熊義貢先輩の始球式でラウンドの幕を開けた。実力を発揮できたり、できなかったりと結果はいろいろであったが、皆

7/16
奈良県神社庁長杯
親睦ゴルフ大会

るとの事。今回の貴重な体験と勉強会で得た知識を日々の奉仕に生かし、次回も機会があれば是非参加したい。
(丹生川上神社 西川)

8/30
天下大祓

楽しみながらプレーすることができた。ラウンド後は、表彰式を兼ねての懇親会がクラブハウス内で行われた。神谷芳彦先輩の乾杯の発声で始まり、プレーを含めいろいろなお話で盛り上がる懇親会となった。個人優勝は本大会最年長でご参加いただいた夏目芳信先輩、準優勝は同じくOBの葛城裕先輩、三位は多田佳史前会長、団体優勝はOBの方の活躍もあり諸社となった。
懇親会の中締め挨拶にて、稲垣雅啓先輩がおっしゃられたように、本年は現役会員の参加が少なかつた。この親睦ゴルフ大会は現役会員がOBの方と交流できる数少ない機会である。来年以降は現役会員の皆様が多数参加されることを切に願う。
(石上 刀禰)

令和元年八月三十日(金)、天下大祓が全国単位で一斉奉仕された。これは神道青年全国協議会の呼びかけにより、御一代に一度の重儀である大嘗祭を前にして、祓を幾重にも奉修し大御代の弥栄を祈念すべく一斉に行われることとなったものである。
奈良県神道青年会では、会長奉務神社である春日大社に会員有志が参集し、修祓の後、御本殿西御廊にて正午定刻、大祓詞の奉唱がなされた。また同刻、各奉務神社においても各会員によりそれぞれ大祓詞の奉唱がされた。神社本庁被包括神社には大嘗祭二日前の「臨

時大祓」の通達がなされているが、平成の御代替の際の「大嘗祭前の大祓」同様、神道青年全国協議会での加えての奉修がなかった。各会員が結集し、今後の各儀式を恙なく齎行する一助となれば幸甚である。

(春日 森山)



8/8

三神青對抗野球大会



令和元年八月八日(木)、燦燦と照輝く太陽の下、神宮、京都、奈良の野球に情熱を注ぐ若き神職達が挙って岡崎公園野球場に集った。恒例の三神青親睦野球大会である。今年、は京都府神道青年会が旗を振り開催された。第一試合京都对奈良の試合は、奈良の宮崎選手の速いストロートにて火ぶたが切られ、互いに攻防闘ぎ合う中、俊足をフルに使い打っては走り走っては打って見事に京都に快勝した。そんな勢いに乗る中、我々の前に

ドン！と立ちはだかるチームがいた。それは伊勢の神宮チームである。リズムが合ってしまったのか将又狂わされたのか当県の橋本投手が捕まり一方的に打たれる展開となり、何とか一点でも多く取り返しこの状況を好転しようとしたが力足らず惨敗。

全ての試合が終わると場所を「平安の森」に移し、互いに汗水流し、鬨い抜き疲れた肉体を湯船につけお互いに心身を癒した。同場所での懇親会では楽しい語らい、お酒、名刺を交わしながら試合を肴に親睦を深めた。

最後に記録的な酷暑の中だれ一人、体の不調を訴えること無く無事全試合終えたことを称賛すると共に、応援に駆けつけて下さった久保田、西田両副会長を始め、我々選手を色々な面からソフトにサポート頂いた女性陣に感謝申し上げます。(石上 森)

9/2

奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会

令和元年九月二日(月)、天理市総合体育館にて奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会が開催されました。

今回の種目は、ソフトバレー。男女併せて二十九名が参加し、春日、橿原、諸社、大神A、大神Bの五チームに分かれて、総当たり制で行われました。中でも優勝争いをした「諸社」対「大神A」の一戦は、今大会一番の白熱した試合となりました。

裸足で果敢にボールに食らいつく人、靴が脱げるほど真剣なプレーをみせる人などの見



せ場もあり、皆楽しい時間を過ごすことが出来ていました。我らが大神Bでは、普段見た事のないハツラツとした姿を見せる者もあり、私自身、彼の本務でも同様の姿を見せてくれることを期待するばかりです。

その後の懇親会では、奉務神社の垣根を越えて互いに親睦を図り、順位発表等が行われ

ました。

スポーツを通して交流を図り、本当に有意義な時間を過ごせました。本当に有難うございました。(大神 後藤)

去る令和元年十月十六日(水)、奈良県神道青年会五十五周年記念事業といたしまして、畝傍山東北御陵の清掃奉仕をいたしました。青年会会員並び、有志の参加者を含め総勢三十名により清掃奉仕を行いました。

奉仕に先立ち、榎原神宮に正式参拝をし、これより御陵の清掃活動に従事する旨を、御祭神・神武天皇様へご報告申し上げ、参加者一同気持ちを引き締め御陵へと向かいました。御陵参拝の後、愈々清掃活動を開始、参道両脇の溝を主に清掃いたしました。

御陵職員の皆様の常の御尽力によりまして、清掃の行き届いた美しい参道ではありましたが、連日の風雨によって溝の中に土と枯葉が溜まっており、一言言葉も少なく集中して溝の中を清めた結果、参道すべての溝を綺麗にすることができました。

清掃終了後、やり遂げたという満足感と共に、御陵職員の方の感謝の御言葉を賜わりました喜びをもって、御陵を後にいたしました。続いての懇親会ではこの喜びを分かち合い、大いに語り合い、すべての行程を終えることができました。

10/16

五十五周年記念事業



来る天皇后兩陛下行幸啓に先立ち、畝傍山東北御陵の清掃奉仕に従事できました事は大変名誉なことであり、また奈良県神道青年会五十五周年記念事業として相応しいものであると感じ、今回の事業に参加できましたこと、大変感謝しております。(榎原 樺山)

11/19

千曲川被災復興支援

令和元年十一月十九日(火)、神道青年東海地区協議会の依頼により、長野県千曲川流域被災神社の復興支援活動に参加させて頂きました。

遠方のため前日昼間に出発し、長野市に宿泊。夕食の店の店員さんに県内の被害を尋ねたところ、市内は殆ど被害がなく、実際に翌朝の長野駅前普通の地方都市の景色が広がっていました。そこから活動場所への移動は三十分程でしたが、たったそれだけの距離で町並みは一変し、状況を目の当たりにしました。林檎畑の木々からは腐った林檎が散らばり、ガレージは倒壊し、土壁は地面から二メートルの高さまで剥げ落ち、地面には家電や食器、ガラスなどが埋まっており、内陸であるのにまさに津波のような被害が広がっていました。東日本の復興支援で仙台に行っただけでも感じましたが、少しの距離だけで起こる被害の差や、住まいと仕事を同時に無くした方々のことを考えると、大きな無力感と脱力感に襲われました。

支援活動には東海地区をはじめ、近畿、北陸などから八十人程が参加し、午前十時から開始。境内の泥を掘り返し、一輪車で運搬する作業が主でした。泥には玉砂利や祠の一部、石灯笼の一部等が混ざり込んでいたため、掘り返すことが難しい場所も多く有りましたが、



午後二時には作業は一段落つき、解散となりました。長野県の会長によると、今回の復興支援は計三日間で、のべ人数二百七十人が参加、その地域の三社の支援活動を行い、どちらも復興の目処がついたと感謝の言葉を戴きました。

活動に続いて、地域の被害状況の視察にも参加。特に堤防決壊箇所の被害はすさまじく、式内社の石碑が建つ神社は基礎以外跡形も無く流され、隣の体育館は鉄筋部分以外流されており、至る所に土囊が積まれているような状況でした。

長野県の会長から「目処がついた」との言葉を頂きはしましたが、実際の復興にはほど遠く、未だ祭典などはままならないものと思われまます。今回の参加者同士の会話では、我々もユニボなど重機の資格をとるべきではないかという声や、神社だけでなく一般家屋の作業にも参加したいという声などがありました。私自身も重機の必要性を感じましたし、神道青年会の研修などにそういったことも入ってはどうかという声もありました。また、神社は地域の心の拠り所であり、その復興は当然大切なこととも思います。神社を支えるのはその地域住民の方々です。その地域の復興への尽力に我々が参加することも大切なことではないかと感じます。機会がありましたら今後是非参加させて頂き、微力ながらも力添えができればと思います。

(大神 出村)

11/29

南都聖和会交流事業

令和元年十一月二十九日（金）に当会の恒例事業である南都聖和会との交流会が開催され参加させて頂きました。

研修会に先立ち、春日大社に正式参拝をし、その後感謝共生の館にて「防犯について」の講義を受けました。

近年は、御朱印のブームや改元によって、神社やお寺に関心を持つ方が増え、沢山の参拝者にお詣りいただいておりますが、残念なことには社殿に油まきや落書きなども、神社やお寺で多く見られます。

今回の講習会で、犯罪を未然に防ぐには「声掛け」が大切であると学びました。今後は、今まで以上に防犯に対する意識を高めながら、全ての参拝者に清々しくお詣りいただけるよう、目配り・気配り・心配りを心掛け奉仕させて頂きます。

懇親会では、美味しい料理を食べながら、色々な話で親睦を深めました。

普段、他社の神職さんや、お坊さんと話す機会が少ないため、堅いイメージをもっていました。とても気さくで楽しい時間を過ごすことが出来ました。またこのような機会があれば参加させて頂きたいです。

（檀原巫女 成岡）



奈良県神道青年会 平成30年度一般会計決算書

歳入の部

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) 単位:円

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
年 会 費	390,000	355,000	△ 35,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費 1名5,000円
助 成 金	600,000	610,000	10,000	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 神社庁各支部 130,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂鍊成研修会) 20,000円
事 業 収 入	170,000	166,000	△ 4,000	鎮守の杜頒布
雑 収 入	34,188	14,005	△ 20,183	祝金 預金利息等
前年度繰越	630,812	630,812	0	
歳入合計	1,825,000	1,775,817	△ 49,183	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
神 事 費	40,000	40,000	0	定例総会 臨時総会 禊鎮魂鍊成研修会玉串料
会 議 費	10,000	0	△ 10,000	湯茶 菓子代
事 務 費	30,000	30,000	0	郵送料他 事務局担当神社へ
会 員 派 遣 費	600,000	406,500	△ 193,500	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 年賀広告費 3,000円
宣 布 費	60,000	31,320	△ 28,680	ホームページ年間維持費
事 業 費	550,000	359,084	△ 190,916	青垣発行 勉強会 鎮守の杜購入他
特 別 事 業 費	75,000	25,000	△ 50,000	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」助成
雑 費	34,000	2,422	△ 31,578	慶弔費・振込手数料他
予 備 費	215,500	0	△ 215,500	
歳出合計	1,825,000	1,104,826	△ 720,174	

(歳入合計) 1,775,817円-(歳出合計) 1,104,826円= 670,991円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 平成30年度特別会計決算書

収入の部

支出の部 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	4,567,071	平成29年度より	事業品調製費	104,976	大和茶
事 業 収 入	121,500		振込手数料	648	
雑 収 入	38	預金利息			
合 計	4,688,609		合 計	105,624	

(収入合計) 4,688,609円-(支出合計) 105,624円=4,582,985円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 平成30年度逆境にある人々応援基金決算書

収入の部 支出の部 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	528,049	平成29年度より	逆境応援基金	50,000	豪雨被害者支援金
雑 収 入	59,266	利息	振込手数料	540	
合 計	587,315		合 計	50,540	

(収入合計)587,315円-(支出合計)50,540円=536,775円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 平成30年度「かたりべまほろば」活動基金決算書

収入の部 支出の部 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	585,361	平成29年度より	活 動 費	18,000	出向費 1公演1人 1,000円
活動協力金	40,000				
雑 収 入	4	預金利息			
合 計	625,365		合 計	18,000	

(収入合計)625,365円-(支出合計)18,000円=607,365円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 平成31年度一般会計予算書

歳入の部 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 単位:円

科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
年 会 費	390,000	370,000	△ 20,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費 1名5,000円
助 成 金	600,000	610,000	10,000	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 神社庁各支部 130,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂錬成研修会) 20,000円
事 業 収 入	170,000	170,000	0	鎮守の社頒布
雑 収 入	34,188	29,009	△ 5,179	祝金 神社新報通信費 預金利息等
前年度繰越	630,812	670,991	40,179	
歳入合計	1,825,000	1,850,000	25,000	

歳出の部

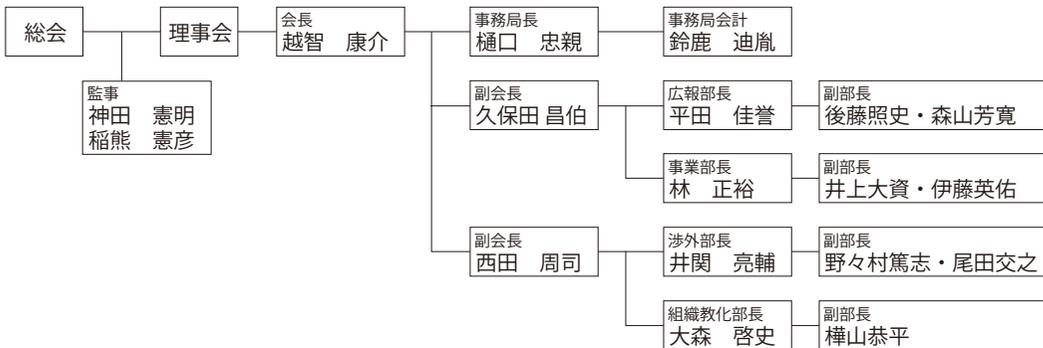
科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
神 事 費	40,000	30,000	△ 10,000	定例総会 禊鎮魂錬成研修会玉串料
会 議 費	10,000	10,000	0	湯茶 菓子代
事 務 費	30,000	30,000	0	郵送料他
会員派遣費	600,000	600,000	0	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 神青協年賀広告費 3,000円
宣 布 費	60,000	60,000	0	ホームページ年間維持費
事 業 費	550,000	585,000	35,000	青垣発行 鎮守の社購入 勉強会 55周年記念事業
特別事業費	75,000	75,000	0	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」助成
雑 費	34,000	34,000	0	慶弔費 振込手数料他
予 備 費	215,500	215,500	0	
歳出合計	1,825,000	1,850,000	25,000	

奈良県神道青年会 活動報告及び計画

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

月	日	内 容	場 所	
4月	15日	奈良県護国神社春季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社	
	同日	会計監査	大神神社	
	同日	平成29-30年度第24回(新旧合同第3回)理事役員会	大神神社	
	17日	神道青年全国協議会創立70周年記念大会	明治記念館	
5月	18日	神道青年全国協議会第71回定例総会	神社本庁	
	24日	平成31年度定例総会	奈良県神社庁	
	同日	同懇親会	橿原観光ホテル	
	7日	神道青年近畿地区連絡協議会第五回役員会(新旧合同)	奈良百楽	
6月	14日	令和元年-2年度第1回理事役員会	橿原神宮	
	20日	神道青年近畿地区連絡協議会野球大会(雨天につきボーリング大会)	ボウリングレインボー橿原店	
	28日	神道青年近畿地区連絡協議会新旧合同事業委員会	ホテルモントレグラスミア大阪	
	3日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回事業委員会	トラウム	
7月	7日	令和元年-2年度第2回理事役員会	春日大社	
	10日	神道青年近畿地区連絡協議会第6回役員会(新旧合同)	奈良ロイヤルホテル	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会令和元年度定例総会	奈良ロイヤルホテル	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会設立25周年記念大会	奈良ロイヤルホテル	
	18日	宮崎県神道青年会創立70周年記念式典(姉妹神宮交流事業)	宮崎神宮 神宮会館	
	21日	奈良県神道青年会55周年記念事業第1回推進委員会	千鳥家	
	2日	石上神宮祓場清掃奉仕	石上神宮	
	3日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回役員会	琵琶湖ホテル	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会顧問・参与会	琵琶湖ホテル	
	5日	令和元年-2年度第3回理事役員会	大神神社	
9-10月	6日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第75回公演	春日大社	
	9-10日	視・鎮魂鎮成研修会	石上神宮	
	9日	令和元年-2年度第1回勉強会(講演 演題「SDGsの活動について」講師 米田昌功先生・森脇大統先生)	石上神宮	
	16日	奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会	シプレカントリークラブ	
	19日	滋賀県神道青年会創立70周年記念式典	琵琶湖ホテル	
	21日	第13回皇居勲勞奉仕「青垣奉仕団」第1回推進委員会	春日大社	
	23日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回事業委員会	生國魂神社	
	24日	奈良県神道青年会55周年記念事業第2回推進委員会	たち花	
	5日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第76回公演	近鉄百貨店橿原店	
	同日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第77回公演	橿原神宮神宮会館	
8月	6日	奈良県神道青年会55周年記念事業第3回推進委員会	くいもの屋わんだ和八木店	
	8日	神宮・京都・奈良3神宮親睦野球大会	岡崎公園野球場	
	15日	英霊にこたえる会奈良県本部奈良県出身戦没者追悼式助勤奉仕	奈良県護国神社	
	16日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第78回公演	奈良県護国神社	
	18日	第13回皇居勲勞奉仕「青垣奉仕団」第2回推進委員会	K I C H I R I 大和八木店	
	19日	令和元年-2年度第4回理事役員会	橿原神宮	
	22日	和歌山県神道青年会創立50周年	ホテルグランヴィア和歌山	
	27日	奈良県神社庁例祭参列	奈良県神社庁	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回事業委員会	生國魂神社	
	27-28日	令和元年度神道青年全国協議会夏期セミナー	神社本庁	
9月	30日	令和の天下大戦	春日大社	
	同日	奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁	
	2日	奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会	天理市立総合体育館	
	6日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回役員会	びわ湖大津プリンスホテル	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回連絡会	びわ湖大津プリンスホテル	
	12日	神道青年近畿地区連絡協議会第4回事業委員会	生國魂神社	
	21日	令和元年-2年度第5回理事役員会	春日大社	
	23日	第13回皇居勲勞奉仕「青垣奉仕団」第3回推進委員会	未来坂大和八木店	
	25日	近畿神社庁連合総会助勢	橿原神宮義正殿	
	27日	皇宮関連施設清掃奉仕	京都御所	
10月	4日	奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁	
	16日	奈良県神道青年会55周年記念事業「神武天皇陵勲勞奉仕」	神武天皇陵	
	同日	令和元年-2年度第6回理事役員会	橿原観光ホテル	
	23日	神道青年近畿地区連絡協議会第5回事業委員会	meeting room JACK	
	30日	奈良県神社関係者大会助勢	橿原神宮義正殿	
	同日	第25回全園戦歿学徒追悼祭参列	全国戦没学徒記念「若人の広場公園」	
	6日	令和元年-2年度第7回理事役員会	橿原神宮	
	9日	天皇陛下御即位奉祝事業助勢	皇居前広場	
	19日	台風19号によるボランティア活動	八幡社	
	21日	神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁	
11月	26日	天皇皇后両陛下御東県奉迎	橿原神宮周辺	
	27日	天皇皇后両陛下御東県奉送	橿原神宮周辺	
	29日	南都聖和会との親睦交流会(防犯研修会)	春日大社、LABO	
	4日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回役員会	多賀大社	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回連絡会	多賀大社	
	9日	令和元年-2年度第8回理事役員会	大神神社	
	同日	役員忘年会	ajito 大和八木店	
	16日	神道青年近畿地区連絡協議会第6回事業委員会	大阪府神社庁	
	令和2年			
	1月	27日	国旗掲揚推進1・27御堂筋ノレド	御堂筋
28日		令和元年-2年度第9回理事役員会	春日大社	
同日		新春互礼会	ごきげんえびす	
2月	1日	会報「青垣」56号刊行		
	28日	大阪府神道青年会創立70周年記念式典	ホテル飯急インターナショナル	
3月	11日	神道青年近畿地区連絡協議会第4回役員会	滋賀県	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回連絡会	滋賀県	
	12日	神道青年近畿地区連絡協議会地区研修会	滋賀県	
	18-19日	神道青年全国協議会令和元年度中央研修会	ホテルセンチュリー静岡	
	19日	奈良県神社庁神職・氏子合同研修会助勢		
	27日	神道青年近畿地区連絡協議会親睦ゴルフコンペ		

令和元年・令和2年度 奈良県神道青年会 組織図



出向理事

【神道青年全国協議会】 代 議 員：越智康介・西田周司 時局対策員：井関亮輔	【神道青年近畿地区連絡協議会】 副 会 長：西田周司 理 事：越智康介・久保田昌伯 事業委員：大森啓史・尾田交之	【皇居勤労奉仕推進委員会】 委員長：越智康介 事務局：藤木宏昭 委 員：西田周司 鈴鹿迪胤 園池庸平 豊田芳亮	【かたりべまほろば】 団 長：久保田昌伯 副団長：大森啓史 事務局員：
【55周年記念事業委員】 委員長：鈴鹿迪胤		【神宮大旗布推進委員】 委員：神田憲明・樺山恭平	

分掌	会則施行細則第4条による会務の分掌事項	行事予定
事業部	企画・研修・社会奉仕・親睦に関する事項	親睦ゴルフ(7月) 勉強会企画(年3回目安)
渉外部	神青協・近畿神青・友好団体との連繋協賛活動に関する事項	三神青野球(8月) 南都聖和会(11月) 近畿ゴルフ(3月)
組織教化部	青少年団体教化・賛助会員に関する事項	神話紙芝居団かたりべまほろば(随時)
広報部	機関紙並印刷物発行・街頭活動・対外的な広報に関する事項	会報青垣作成(原稿写真依頼)

春日大社



工藤 超

- 平成5年1月21日
- 稽古照今
- 神社参拝 歌唱 正字正仮名遣
- 神社参拝、博物館見学、小旅行
- 絶えず研究して知識を身に付け、それを無理なく奉仕や生活に活かして参る所存です。多方面からの御教示を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

石上神宮



井上 大資

- 昭和57年12月30日生まれ
- 力をいれて力まない
- 読書
- 息子・娘と遊ぶ
- 宜しくお願ひ致します。

石上神宮



森 重人

- 昭和61年9月28日生まれ
- 案するより産むが易し
- 特になし
- ドライブ
- まだまだ未熟者ですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

等彌神社



稲垣 裕恵

- 昭和61年6月19日
- 自分のしたことは、良くも悪くも自分に返ってくる
- 漫画
- お出かけ
- よろしくお願ひします

大神神社



松村 和輝

- 平成9年2月28日
- 人の振り見て我が振り直せ
- 映画鑑賞・野球
- 買い物
- 宜しくお願ひ致します

令和元年度
新入会員紹介

編集後記



新しい天皇陛下が御位に登られ、御代も「平成」から「令和」となりました。我々奈良県神道青年会もこれまでの活動に加え、今までの以上の発展を考えております。会員の皆様のさらなるご協力をよろしくお願ひします。(広報部)

檀原神宮



福家 和也

- 平成8年5月29日
- 継続は力なり
- 水泳・映画鑑賞
- 筋トレ・映画鑑賞
- ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。

丹生川上神社



西川 亮

- 昭和56年12月23日
- 生きてりや何とかなる
- ドライブ・旅行
- 家族とのんびり過ごす
- どうぞよろしくお願ひいたします。

- 生年月日
- 座右の銘
- 趣味
- 休日の過ごし方
- ひとこと

奈良県神道青年会 第13回皇居勤労奉仕

青垣奉仕団 団員募集

この度、奈良県神道青年会では、第13回皇居勤労奉仕『青垣奉仕団』を結成致しました。皇居勤労奉仕は、昭和20年5月の空襲で焼失した宮殿跡の整備のため、時の有志が勤労奉仕を申し出たのが始まりで、その後各地の団体からも同様の申し出があり、現在では皇居及び赤坂御用地において、ほぼ毎日ボランティアグループや地域の団体、職場の仲間同士等が、除草、清掃、庭園作業などの奉仕を行っています。

4日間にわたる皇居・赤坂御用地の清掃を通し、日常では味わう事の出来ない清々しい気持ちを体感し、天皇皇后両陛下より御会釈を賜りました折には、青垣奉仕団一同声高らかに「聖寿万歳」を申し上げ、御皇室国家のご安泰と世界の平和を祈念致したく存じます。

ぜひこの機会に、お一人でも多くの皆様に皇居勤労奉仕へご参加頂きますようご案内申し上げます。

- 実施予定日 令和2年9月14日(月)～18日(金)を第一候補日として申請を致します。【奉仕は15日(火)～18日(金)の4日間】
(上記日程にて奉仕団体申込多数の場合は宮内庁にて抽選が行われる為、日程が変更になる場合がありますので、ご理解の上お申し込み下さい)
- 参加費 100,000円(予定)《交通費・食費・宿泊費等》
- 募集人数 30名
- 参加資格 年齢15歳以上75歳以下(奉仕日時点)、健康に責任の持てる方
- 申込締切 令和2年2月末日(尚、定員集まり次第締め切らせて頂きます)
- お申込み 参加ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ)

- 春日大社 〒630-8212 奈良市春日野町160
☎0742-22-7788 FAX. 0742-27-2114 担当：とよだ よしあき 豊田 芳亮
- 大神神社 〒633-8538 桜井市三輪1422
☎0744-42-6633 FAX. 0744-42-0381 担当：ふじき ひろあき 藤木 宏昭
- 橿原神宮 〒634-8550 橿原市久米町934
☎0744-22-3271 FAX. 0744-24-7720 担当：にしだ しゅうじ 西田 周司
- 高鴨神社 〒639-2343 御所市大字鴨神1110
☎0745-66-0609 FAX. 0745-66-2369 担当：すずか みちたね 鈴鹿 迪胤